

会議報告書

会議名	第5回消防委員会
日 時	令和6年5月8日(水) 午後6時00分～7時05分
会議場所	防災センター2階
出席者	消防委員 6名 総務部長 団長 事務局(地域防災課職員)3名
議題 及び内容	<p>司会 事務局</p> <p>1 開会</p> <p>　　総務部長の紹介</p> <p>2 報告</p> <p>　　会長より、3月15日に「あきる野市消防団員の処遇改善について(中間答申)」を市長に渡した事を報告した。</p> <p>3 審議</p> <p>　　準中型免許取得制度補助について、前向きな方向で考える 　　出動報酬を支給する範囲の見直しについて、行うという方向性 　　年間行事の削減やイベントの短縮や見直し等については、本団で話し合っていただく</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">審議内容は別紙審議質疑のとおり</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・次回委員会は、令和6年6月13日(木) 18時からに決定・商工会員に対し、サポート店募集及び団員募集のチラシ配布を実施した。(1600部)・郵便局員に対しての団員募集活動を実施した。・委員から商店会にも配布したらどうかという意見あり。 <p>5 閉会</p>

3 審議

(1) 消防団員の処遇を改善し、団員を確保するための方策について

・配布資料について説明(事務局)

会長

以上、いただいた説明や資料なども参考にご意見などがあればお願ひします。

委員

資料番号2の車両・機材・消火栓等点検を支払いを対象外にしている理由は何でしょうか?

事務局

本来は対象としてもよいと考えますが、この活動は部によって実施回数がまちまちであり、状況の把握が難しいことから、年額報酬の中での対応としております。

委員

機材の点検は非常に大事なので、是非対象にもらいたい。また、同じく対象外のホース収納についても大規模な火災後の本数が多い時などは労力を要するものになります。回数制限等は団長・事務局でコントロールできるのではないか。

年額報酬について役職によって差があるようですが、宴席の出席において挨拶をする方には手当があって良いのではないか。団員の皆様は、生業がありながら大役を担っているので、検討していただきたい。このような手当があることで、幹部を目指そうという方も出てくるのではないか。

会長

上部団体との総会と宴席はセットになっていますが、総会出席の報酬は支払われていますよね?

事務局

はい、支払われています。

委員

前後の会で支払われているのであればOKです。ただし、肩書で宴席のみの場に呼ばれた場合は検討した方がいいのではないか。個人名での出席は別となります。

事務局

予算確保という点において、難しい部分もあると考えています。点検については実情に即して試算すると、回数制限した上で年間一千万円という数値がでてしまいますが、再度検討いたします。

委員

以前に比べて団員が減少している状況にあるため、団員が充足していた時並みの予算を要求して良いのではないか。分団運営補助金についても、現役団員から個人支給移行後は、部の運営が苦しい状況であると聞いている。現在、分団には45万円ぐらいが支給されていた(第三分団)と記憶していますが、月5万円で年間60万円というのは、過大な金額ではないと思います。また、機材点検についても回数を制限して、支払った方が良いのではないか。点検は若い子達を育てるという事もできます。ホース収納については難しい部分があるのかを感じますが、ホースの本数に応じて判断するというのが良いのではないか。

委員

同じく部の運営が苦しいという意見を耳にしている。個人支給となり、集めるのが大変である。盛大にやりたい時に捻出できないため、会費制でやる必要がある。機材点検については、回数の上限はあっても、対象としてあげた方が良い。

委員

国家予算において、消防団強化の予算がついた。このことが、地方議会に与えるインパクトを部長に伺いたい。

総務部長

予算がついたということは必要性があるという意味合いだと思います。地域住民の安心・安全にとってもより現実性がある話であるが、補助制度にしても市単費での取り組みについても予算との関係がでてきます。そのためにこの委員会においても、人が減っている中で何ができるのかを協議しなければいけないし、社会通念上、予算を引っ張ってくる事もできるのではないかという目線も必要ではないかと考えられる。国家予算がついた事について、今すぐどうこうということはお答えが難しいですが、精査していくことが必要である。

委員

前回までに言いたい意見は述べている。今後も頑張っていただきたい。

会長職務代理者

補助金は何にでも使用できるのではなく、使い方は難しいところがある。必要装備の購入の必要もある。個人支給についてはメリット・デメリットがあるが、予算確保していただけだと、団としては有難いのではないか。

会長

処遇改善の他に、操法大会・式典の短縮等の負担軽減についてもご意見をお伺いしたいところですが、消防庁では操法大会の審査基準の変更等の話はありますか。

委員

ありません。

委員

出初式について、屋外と室内を交互に開催すると負担軽減になるという声があります。寒いのは仕方ないが、負担軽減になる。開催準備の負担軽減もできるのでは。

事務局

正副団長でも室内での開催については、協議しているところです。また、屋外の開催については、団員数が減少している状況もあり、屋外の広い場所だと、整列した際に見栄えがよくないとの話もあるため、狭い屋外の場所についても検討しています。

委員

団長が新しく変わった時だけ、華々しく開催するというはどうか。団長が変わった時だけ、団長に点検してもらうという意味も含め、車両分列行進を行うというのが良いと思う。

会長職務代理者

準中型免許についてもご意見をいただければと思います。

会長

消防庁には同じような制度はありますか？

委員

大型免許のみ希望者は組織で取得できるという制度があります。その他にもヘリコプターの免許取得もありますが、取得費用が億単位と高額になるため、免許取得後に辞めないように誓約書を書いてから取得する制度となっている。そうでないと取得後に民間に行ってしまう。

事務局

この制度を実施しているほとんどの市町村で制限をかけているようです。

委員

瀬戸岡に新しく教習所ができる。大型免許も取得できる。サポート店の登録をしてもらいたい。

会長

資料の他市町村の状況を見ると、希望者は少ないみたいですね。

事務局

教習所が混雑していて思うように取得できないケースもあると聞いていいます。また、現時点では取得を要する方が少ないという状況もあり、人数は落ち着いています。

会長

現在保有しているポンプ車は、3.5t 以上だと思いますが、3.5t 以下の車両は作られているんですか？

事務局

作られています。ただし、現在配備されているポンプ車と比べると能力等に差があり、操法大会の出場時にはどうするかという問題などもあります。西多摩でも検討しているところは、ほとんどありません。部の統廃合を踏まえて検討していく必要があります。

委員

そんなに取得者がいないのであれば、派手さや目立ちという点でドローンの免許取得はどうか。

事務局

東京都からドローンの貸与は受けていますが、現場ではありません使用するシーンはないという状況です。

会長職務代理者

指令車にはドローンと連動したシステムとして、車内モニターにドローン撮影映像を映し出し、プリントアウトすることもできるようになっている。

委員

令和元年の台風 19 号の時には、ドローンが災害時に実践投入されて、状況把握等で非常に有効であることがわかつている。

会長

この辺で本日のまとめに入りたいと思います。本日の話の中で、準中型免許取得制度補助につきましては、前向きな方向で考えていき、出動報酬を支給する範囲につきましては、見直しを行うという方向性とし、年間行事の削減やイベントの短縮や見直し等につきましては、本団で話し合っていただくとなります。

本日の内容につきましては、お気づきの点やご不明な点がございましたら、事務局にお尋ねください。皆様、本日の議事進行にご協力をいただき、ありがとうございました。